

浮世絵にみる 江戸前の海と魚



重宣『江戸名所 品川沖汐干狩之図』国立国会図書館デジタルコレクションより

浮世絵に描かれたモチーフを通して、江戸時代より「江戸前」と呼ばれた東京湾の内湾で育まれた豊かな魚資源と人々とのかかわりをよみます。江戸前の海を、江戸の文化とともに覗いてみましょう。

日程	2024年6月1日、6月22日、7月6日、7月20日 土曜日・全4回		
時間	14:00~15:30 (90分)	会場	豊洲文化センター8階・第2研修室
対象	中学生を除く15歳以上・30名		
参加費	受講料 4,600円・教材費 400円 (全4回分)		

第1回 [テーマ] 幕末浮世絵の魚介図 北斎・広重による花鳥画・静物画の例
6/1(土) [講師] 内藤 正人 (慶應義塾大学教授)

第2回 [テーマ] 浮世絵にちりばめられた江戸の魚食
6/22(土) [講師] 林 綾野 (キュレーター、アトラライター)

第3回 [テーマ] 浮世絵にも描かれた江戸前の釣り文化
7/6(土) [講師] 長辻 象平 (産経新聞論説委員、作家)



内藤 正人



林 綾野



長辻 象平



河野 博

第4回 [テーマ] わたしたちの江戸前の海
7/20(土) [講師] 河野 博 (長尾自然環境財団理事長、東京海洋大学名誉教授)

申込期間 : 2024年3月10日 (日) ~ 3月24日 (日) 必着 * 詳細は裏面をご覧ください